

2019年10月10日

メンテナンス&レジリエンス アジア 2019 in バンコク に出展

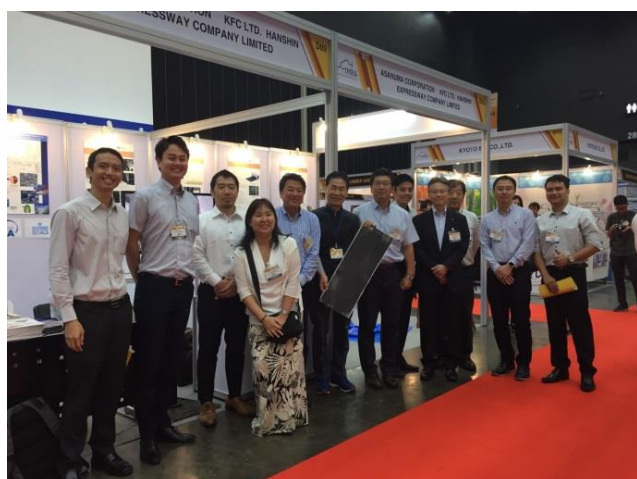
JICAが進める途上国における課題解決への取り組みの一つであります“SDGsビジネス支援型事業”によるタイ王国のインフラ補修・補強事業の事業化への案件化調査事業に当社を代表企業とするチーム提案が採択されました。その活動の一環として今回、タイ王国のバンコクに於いて開催されました[メンテナンス&レジリエンス アジア 2019]に出展をしました。

開発した特殊積層繊維シート技術は、当社と阪神高速道路株式会社様と株式会社ケー・エフ・シー様とで共同開発したもので高架橋の床版や桁（鋼製・コンクリートいずれにも適用可能）の補強工事に使用するものです。

この展示会は、タイ王国をはじめとしたASEAN地域における持続可能なものづくりやインフラを導くための技術や製品が集結したもので、一般社団法人日本能率協会が主催ということもあり日系企業の多くも出展しており、多数の来場者がありました。

開催期間は2019年10月2日～4日で、初の海外での展示会でしたが、様々な業種の方からの問い合わせを頂き、とても有意義な出展となりました。

*このJICAの事業は、SDGsのゴール9に当てはまり、
強靭なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進
及びイノベーションの推進に貢献しています。



MRA “チーム Asanuma”



展示ブースの様子